

# 覆面投稿者の発行した「怪文書」と 「吉岡」の「ホームページ」との 本質的な違い！

吉岡が発表している「ホームページ」は、  
読者からの批判・攻撃の「リスク」を  
吉岡自身が背負って発表しています。

吉岡が公開している「ホームページ」(2種類)は、当然のことながら、私の実名を公表しています。

議員になる前から開設しているこの「ホームページ」では、その時々感じてきた「様々な問題」について、感想・意見を述べてきました。

ですから、その時々においては、「事実と違う」とか、「不適切だ」などの指摘を受けることもありました。間違いは、訂正し、「不適切」と指摘された件に関しては、修正・削除しました。

1つだけ例を挙げておきます。、安平町の文化財「木造のサイロ」の解体に対して、当時、タリバンが支配するアフガニスタンでのバーミアンの大仏破壊の衝撃が私の頭に残っており、安平町や教育委員会による「木造サイロの破壊」がそれと重なりました。

私はホームページ上で「アルカイダと同じじゃないか」と批判しました。

これに対して、ある教育委員会の幹部から「アルカイダと一緒にするのは不適切ではないか」との指摘がありました。私はその批判を受け入れ、「アルカイダと同じじゃないか」という部分を削除しました。

つまり、ホームページを公開するということは、こういうことなのです。

自分の書いたことを、閲覧者からの批判から逃げず、批判にさらすのです。特に議員のホームページはなおさらです。

今回の「覆面者」による正体不明の「投稿文(怪文書)」の見当外れの攻撃を受けるのも、氏名を公開したホームページの宿命から来ているのです。

今回の「覆面者」の投稿も、前回の議員批判の投稿同様、「頭隠して尻隠さず」でした。この度の覆面投稿者は、前回以上に多くの痕跡を残して立ち去りました。惜しむらくは、覆面の投稿者(犯人)がばらまいた「爆弾」は、どれも「不発弾」ばかりでした。

**覆面投稿者は、  
自分の投稿した文書の一言一句に、リスクもなく、  
言いたい放題言っても、一切、責任を負わない。**

**吉岡の「ホームページ」を批判するなら、  
「覆面」を外して、ものを言うべきではないか？**

「覆面」投稿者の「傲慢な言葉」	吉岡のコメント
<ul style="list-style-type: none"> <li>●議員の中には、駄々をこねるだけの「<b>頭幼稚園児</b>」がいる。</li> <li>●議員の半数が「<b>ボンクラ</b>」とは、この町の先が思いやられる。</li> <li>●問責決議に反対した議員と議長を呼び捨て。 (多田・小笠原・米川・三浦・吉岡・牧田)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★「<b>頭幼稚園児</b>」とか、「<b>ボンクラ</b>」などと、議員を罵倒しているが、<u>覆面投稿者は、どれほど優秀なのか？</u></li> <li>★ 要するに、「覆面者」は、「問責決議」に賛成しなかった議員に腹を立て、自分がバカにした「<b>頭幼稚園児</b>」と全く同じように、駄々をこね、「ボンクラ」と罵倒し八つ当たりしているだけではないか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●問責決議に反対した<b>多田</b>や<b>小笠原</b>は、「自由」とは何か、もう少し勉強なさっては如何か。</li> </ul> <p>国会議事堂前で、<u>デモをやってバカ騒ぎしている左翼連中</u>と同じようなことを言うのは、やめてもらいたいものだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★外ならぬ<b>多田</b>議員や<b>小笠原</b>議員に対して「もう少し勉強なさっては」とは、よくぞ言ってくれたものです。「傲慢さ」もここまで来れば、天然記念物なものです。</li> <li>★「<u>デモ＝バカ騒ぎ＝左翼</u>」との認識しか持たない前近代的な「覆面」氏こそ、「自由とは何か」「民主主義とは何か」を、<u>もう少しではなく、「もっともっと」勉強すべきです。</u></li> <li>★ 国民の政治に対する重要な民主的意思表示の手段であるデモを「バカ騒ぎ」と呼び、「左翼」とだけ結びつけるその「短絡さ」と「認識不足」は「<b>頭幼稚園児</b>」そのものです。</li> </ul>

**「吉岡非難の言葉」に、具体的根拠なし。  
わかるのは「感情的に悪口を言っている」ということ  
だけ」**

「吉岡の・・・」で始まる意味不明な「非難」	吉岡のコメント
<p>①吉岡の言動は・・・ 傍若無人な態度は加速し議会やチラシ、ネットで<u>あることないこと</u>を声高に喚（わめ）き散らしている。</p> <p>②吉岡の議会活動は・・・ 国会審議を妨害する野党と同じで・・・<u>どうでもよい過去のこと</u>を引っ張り出し（役場や事業を）足止めしているだけだ。いつまでも<u>探偵ごっこ、刑事ごっこ</u>をやっているようだ。</p>	<p>★「傍若無人」とか「あることないこと」とか、「<u>わめき散らしている</u>」と言っているが、意味不明なのです。コメントのしようがありません。</p> <p>★「<u>どうでもよい過去のこと</u>」とか、「<u>探偵ごっこ</u>」「<u>刑事ごっこ</u>」とか、何を言っているのでしょうか？現在の安平町には、議会として解明すべき支出問題があります。支出問題とは、町民の税金の使い方の問題です。それは「<u>どうでもよい過去のこと</u>」ではありません。ましてや、「<u>探偵ごっこ</u>」「<u>刑事ごっこ</u>」などと揶揄されることはありません。</p>

「議会を破壊」と牧田、米川議員にけしかける。	吉岡のコメント
<p>③吉岡が「<u>議会を破壊</u>」し、ルールを守らずにいるのに、牧田は、いつまで温情の眼で・・・</p> <p>④「<u>議会を破壊</u>」しようとする吉岡の醜態を（米川は）良しとしたのか。</p>	<p>★覆面氏が言う「<u>議会を破壊</u>」という意味がわかりません。どうも、「議会を破壊」するという意味が、私の理解とは違うようだ。私はアナーキスト（無政府主義者）ではない。</p> <p>★覆面氏は、「<u>議会を破壊</u>」という扇情的な言葉使って、牧田議長や米川議運委員長に「反吉岡感情」を煽っているけれど、「議会を破壊」って、どんな状況を言っているのか、具体的に説明していないからわからない。</p>

あえて「議会破壊(ルール違反)」と言うなら、  
次の2つこそ、議会破壊(ルール違反)行為ではないか？

- (1) 早来中学校校舎再建に関する説明会（H 31・1・9）は、「議会破壊」の一例と言えないか？。

議会内で行なわれた「早来中学校校舎再建に関する説明会」は、「教育委員会からの説明」との事前連絡があったが、主催が、議会のどの組織なのかが不明のまま行なわれた。教育委員会は、選挙管理委員会同様、行政委員会であるから、議案の提案権はない。そうした立場の教育委員会からの説明会をどこが、主催するのか。全員協議会が主催するのか、総務委員会が主催しているのか、主催組織が不明のまま、「説明会」が行なわれました。おかしな事です。

このことが今後も続き、主たる議会の運営組織が不明のまま、「説明会」が行なわれるなどした場合は、覆面氏のように大げさに言えば、「議会破壊」につながる重大はルール違反と言えないか？

- (2) 経済常任委員会における木林議会議務局長発言と委員長の采配。（R元12月9日）  
（多田委員の質問を受け、森池課長が、発言を始めたときに「委員長いいですか？」と木林議会議務局長が、森池課長の発言を遮り、説明を始めた。

- ①工藤委員長は、担当課長でもない木林事務局長の発言(説明)を内容を確認めずに認めた。
- ②木林事務局長は、担当課長の発言を遮り、農水省と折衝の内容を報告。
- ③挙げ句の果てに、「町は保全の方針だという考えを持っています。」と、述べた。いつから、担当課長になったのか。

（「持っています」が正しい謙譲語。）

議会議務局長の越権行為（守備範囲を超えた業務対応）は、議会の基本的機能を損なうことになり、これも「議会破壊」につながる軽率な行為である。

「議会を破壊する」とは、上記の例のように、議会の仕組みが、法律解釈を離れた判断により、「議会が変質」に至ることです。

私が「議会運営」に求めてきたことは、委員会や町長、教育長の施政方針に対する質問等々です。これらは、未だに認められていませんが、こうした要求・要望は、手続きを踏んだ正常なものであり、「議会を破壊する」ものではありません。

